

2023年度 中1 現代文 探究スキルラーニング

学校のあり方改革

～自分が知っている学校の枠組みから飛び出そう～

「自分が知っている学校」を振り返って、これからの学校が良くなっていくために何ができるか
仮説と結果予測の立案や情報収集、考察や批評ができるようになるう！



() 年 () 組 () 番 氏名 ()

【日程・内容】

授業内容						
時数	内容	実施日	クラス	時限	場所	GS
1	「自分の知っている学校」の姿を再確認するため、自分のいた小学校と青翔開智中学校がそれぞれ自分にとってどのような場か・共通点・相違点を洗い出す。 【観点】 ・授業時間や休み時間や放課後の長さ ・授業の内容やカリキュラム ・休み時間や放課後の使い方 ・授業時間や休み時間や放課後におけるクラスメイト・先生の雰囲気 ・学校にあった「モノ」「環境（時間・空間・施設）」「ルール」	10/13 金	中1A	5限	教室	
		10/13 金	中1B	7限	教室	
2	学校の歴史・近代の学校の説明から、現代社会で展開されているフリースクール・オルタナティブスクール・通信制・夜間学校・困難校など様々な「学校」の雰囲気、設備、カリキュラムなどを紹介する。 →学校のあり方に関して「そういうのもありなんだ!」と柔軟に仮説を立ててもらえるようにするため。 班に分かれる。 「自分の知っている学校」の姿（前提）を踏まえて、「学校（小・中学校）」という場をどう良くしたいかについて、こちらが指定した項目の中から観点を1つ決めた上で 仮説を設定する。結果の予測もする。 項目：「時間やカリキュラム（青翔開智で実現できる範囲内）」「授業の内容」「過ごし方」「人間関係や先生」「モノ・環境・ルール」 (例) 「授業の内容」：国語科で小説の授業において、導入でいつも作品の概略アニメーションを見ることができれば、内容が入ってきやすくなるのではないかな？ 「過ごし方」：昼休みを1時間ほど確保して、グラウンドで遊べるようにすれば運動不足の解消・運動習慣の定着になるのではないかな？	10/17 火	中1A	6限	教室	
		10/17 火	中1B	6限	教室	
3	仮説設定と結果予測の続きをする。 それが終わったら、仮説の根拠になる、もしくは参考になる 情報 を探す。 ・本（1冊以上・出典明記・発表が充実したものになるようにデータは可能な限り幅広く集めるほうが望ましい（多ければ良いという意味ではない）） ・インタビュー（本）：誰が言ったことかを記録する (例)「〇〇大学の△△教授が言っている」 (Googleフォームを活用したアンケートは実施しない)	10/18 水	中1A	1限	教室	
		10/18 水	中1B	1限	教室	
4	根拠として対応している情報を調査する	10/20 金	中1A	5限	教室	
		10/20 金	中1B	7限	教室	
5	調査	10/24 火	中1A	6限	LC	
		10/24 火	中1B	6限	LC	
6	調査・冊子へ調査を踏まえた考察をまとめる	10/25 水	中1A	1限	LC	
		10/25 水	中1B	1限	LC	
7	冊子へ調査を踏まえた考察をまとめる・スライド作り開始・冊子を他グループへ共有し批評コメントを記入し合う	10/27 金	中1A	5限	教室	
		10/27 金	中1B	7限	教室	
8	批評コメントを踏まえて情報を集め直したり集め足したりする・考察をまとめる・スライド作り	10/31 火	中1A	6限	教室	
		10/31 火	中1B	6限	教室	
9	発表 ・1班3分間 ・1班終わるごとに1分間質問や感想 ・2分間コメント記入（発表をした班：自分たちの発表について振り返りコメント/他の人は発表グループへコメント） ・動画は次の班の人が撮影する ・動画所持者はその時間中にクラスルームへ提出	11/1 水	中1A	1限	教室	
		11/1 水	中1B	1限	教室	
10	発表・振り返り	11/7 火	中1A	6限	教室	
		11/7 火	中1B	6限	教室	

【ループリック】

タグ	観点（到達目標）	A	B	C
1	疑問・課題を見出すことができる 課題解決に必要な仮説を立てることができる	指定された項目の中からグループのメンバー全員が納得できる仮説（あるいは課題）と結果予測、それを検証するための役割分担を定めることができる。	指定された項目の中からグループのメンバー全員が納得できる仮説（あるいは課題）と結果予測を定めることができる。	グループで問いに対する仮説と結果予測、役割分担を定めることができない。
8	ものごとを筋道立てて考えることができる	グループのメンバー同士で立てた仮説（あるいは課題）に対応する情報について、多様な種類の本からの確な根拠を3つ以上探すことができている。 ※本に書かれている事実（出来事やデータ）、人の主張とを区別しながら読み、より根拠としてふさわしい情報を引用する。	グループのメンバー同士で立てた仮説（あるいは課題）に対応する情報について、多様な種類の本からの確な根拠を2つ以上探すことができている。	グループのメンバー同士で立てた仮説（あるいは課題）に対応する情報について、的確な根拠を収集できていない。
4	思考ツールを活用して集めた情報を分析することができる	他グループのメンバーが立てた仮説・結果予測・収集した情報に対して批判的な見方でコメントを記入することができる。 ※ ・「批評」と「非難・批判」を混同しないよう留意する。 ・収集された情報が仮説の根拠として対応しているかどうか吟味（ぎんみ）する。 ・質問や提案（振り下げて調査したり考えたりすべき点）は具体的に投げかける。 ・相手が考えた事柄や集めてきた情報、思考の流れについて良い点も必ず伝える。	他グループのメンバーが立てた仮説・結果予測・収集した情報に対してコメントを記入することができる。	他グループのメンバーが立てた仮説・結果予測・収集した情報に対してコメントを記入することができていない。

～「仮説」ってなに？～

●今回の探究スキルラーニングでは、自分が経験してきた「学校（小学校・中学校）」の姿を踏まえてこれからの学校がどのようになれば良いものになるか考え、仮説と予想を立て情報収集・考察・批評をしていくことになります。

・「仮説」とは？

いろいろな事柄の間の関係が実際には確かめられていない場合、それを統一的に説明するための理論的な仮定。また、一般に、**ある事柄を理由づけるための仮の見解**。仮説。
（『日本国語大辞典』より引用）

→何だか難しい……。それに、「課題」や「問い」など、意味合いの似た言葉が沢山ある……。

【「仮説」や似た言葉について簡単にイメージすると……】

仮説

特定の物事や状態について「こうしたらこうなるだろう」という、**予想が前提にある問い**。主張（結論）と理由（根拠）はこれから考えていく。

課題

解決せねばならない特定の物事や状態。
主張（結論）や理由（根拠）はこれから考えていく。

問い

特定の物事や状態について浮かび上がる**疑問**。
主張（結論）や理由（根拠）はこれから考えていく。

●「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」で学んできた通り、「仮説」には主張をする前に**結果の予測**をする必要がある！

●仮説を立てる前には、自分が主張したいと考えているテーマに関する**前提知識・話題提示**が必須！

1 「自分の知っている学校」の姿を洗い出そう

【前提知識・話題提示をするために】

「学校をどう良くしたいか」について仮説を立てたり情報を集めて考察をまとめたりするには、自分がこれまで過ごしてきた「学校（小・中学校）」という場所について十分に振り返って「自分の過ごしてきた学校はこんな場所ですよ」と最初に説明（前提知識の提供・話題提示）できることが大切！

●下記の観点に沿って、「自分の過ごしてきた学校（小・中学校）はどんな場所だったかな」と振り返ってみよう！ できる限りたくさん・具体的に出してみよう！

【観点】

- ①授業時間や休み時間の長さ
- ②授業の内容やカリキュラム
- ③休み時間や放課後の使い方
- ④授業時間や休み時間や放課後におけるクラスメイト・先生の雰囲気
- ⑤学校にあった「モノ」「環境（時間・空間・施設）」「ルール」

【小学校】

【中学校】

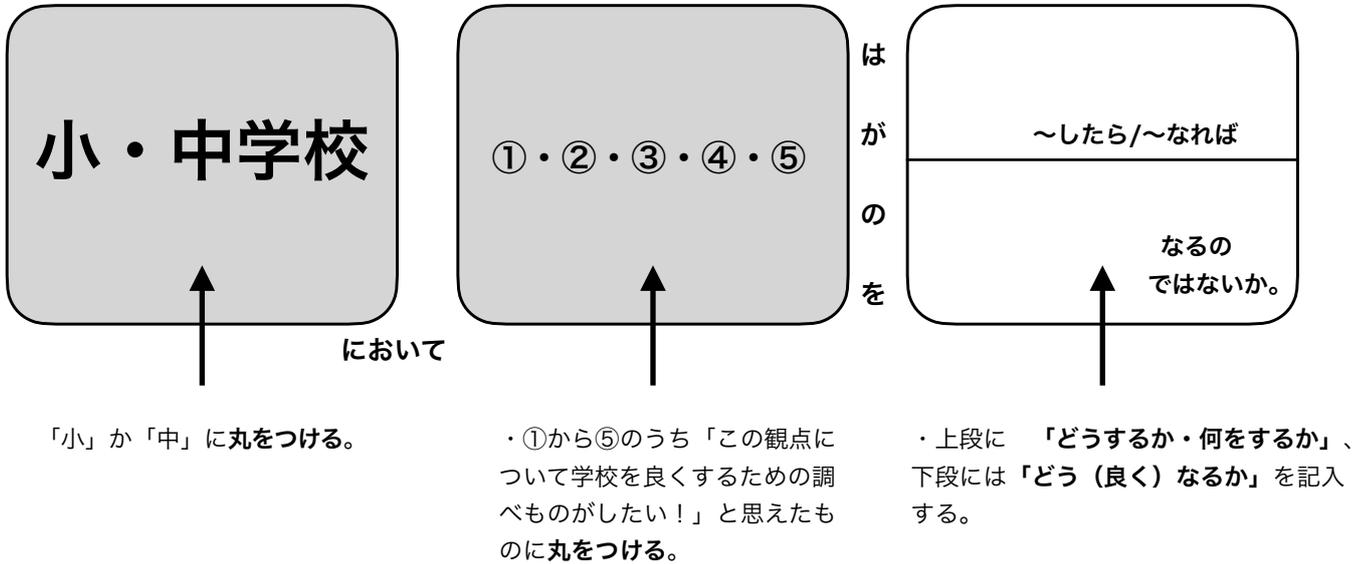
①	④	④	①
②			②
③	⑤	⑤	③

2 「仮説」を立て、仮説の「結果予測」をしよう

● 「自分の知っている学校」を踏まえ、これからの「学校（小・中学校）」がどうすれば良くなるか仮説を立ててみよう！

【仮説はどういう手順で立てるの？】

・下記の図を埋める形で立てよう。



【気をつけてほしいこと】

・グループのメンバー全員がある程度納得できる「仮説」を立てられるよう、お互いによく話を聞いたり伝えたりしよう。

・仮説の立て方には課題解決型・分析解明型がある！

◆課題解決型…「何か**良くない状態**をこういう風に**良く**しよう！」

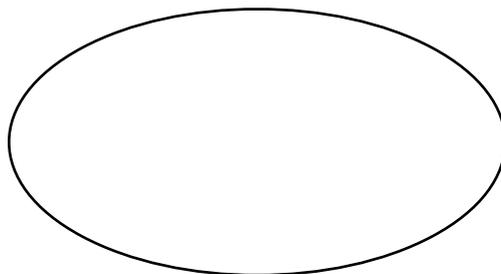
◆分析解明型…「現状を踏まえて、こういうことをすればこうなりそう！」

どちらの立て方でもOKですが、課題解決型の仮説を立てるときは「良くない状態やモノ」について悪い言い方（言葉選び）をしないようにしよう。

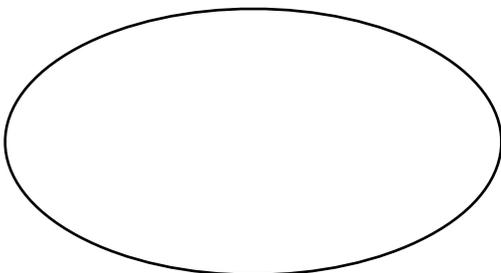
（例）「ブラック校則」「詰め込み課題」などはNG……。

【結果予測もしてみよう】

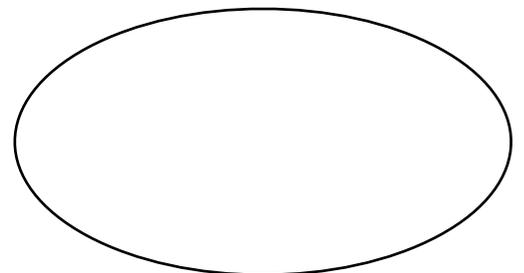
【仮説】



【結果予測】



【必要になる情報】



3 仮説の根拠・参考になる「情報」を集めよう

●ラーニングセンターを活用して、自分たちのグループが立てた仮説の根拠になってくれる情報を集めよう。

【気をつけてほしいこと】

・Google検索から、「青翔開智 図書館」と検索→「資料を探す」をタップして「青翔開智中高 OPAC（蔵書検索）」に飛ぶ→自分が立てた仮説の根拠になったり参考になったりしそうな本のキーワードを検索

（例）

仮説：「学校内に〇〇を設置すれば休み時間によく休めて授業へ集中しやすくなるのではないか？」

検索するキーワード：「空間」「睡眠」「休息」「集中力」「学校」など……。

・最終的に仮説の根拠として引用することにした本の出典を書こう。

→ループブックにある通り、できる限り多様な種類の本（インタビュー、新書、教育書、デザイン、アート、調理、自然科学などなど）から探してこよう。

【引用した本の出典】

【著者】	【本のタイトル】	【出版社】	【初版の出版年月日】

【見つかった情報（引用しないものも書いておく）】

※実際に引用することにした情報には線を引いたり囲ったりして分かりやすくしよう。

4 情報収集を踏まえた「考察」をしよう

- 集めてきた情報を踏まえて、自分たちの立てた仮説の結果はどうなったのか、聴衆へ伝えたいことは何かについてまとめよう。

5 探してきた情報が仮説の根拠になっているか 「チェック（批評）」してもらおう

●自分が立てた仮説の根拠として探してきた情報が、きちんと仮説の根拠になっているのかチェックしてもらおう。

●他グループのメンバーに冊子を渡して、コメントを書いてもらおう。

【気をつけてほしいこと】

・「非難するような目線」ではなく「批評的な目線」でコメントしてあげてね！

批評：事物の善悪・是非・美醜などを評価し論じること。長所・短所などを指摘して価値を決めること。批判。

非難：欠点やあやまちを責めとがめること。

【コメント1人目】

【コメント2人目】

【コメント3人目】

【コメント4人目（グループによる）】

6 仮説・結果予測・集めた情報・（批評を踏まえた） 考察が伝わる発表をしよう

※発表する際の様子はループリックへ入れていませんが、ここまで考えてきた思考の過程について発表までするのであれば、ただ全体へ「共有する」だけでなく自分たちがした調査の成果が聴衆へ十分に伝わる発表も目指してみよう。

項目	レベル	内容	よくできた	できた	できなかった
アイコンタクト	標準	目線が前を向いている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	発展★	目線が「Z」や「の」のラインで動いている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
声	標準	声の大きさが全体に行き届いている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	標準	話すスピードが、速すぎず、遅すぎず、ちょうどいい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	発展★	適度な間を効果的にとって話している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	発展★★	抑揚や緩急をつけた話し方ができている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
表情	標準	明るい表情でイキイキとしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ジェスチャー	発展★	適度な身振り手振りを効果的に取り込んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
姿勢	標準	フラフラしたりモジモジしたりせず背筋が伸びている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	標準	足癖が出ていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	標準	重心が片方によっていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	発展★★	原稿を見ずに話していて、両手が自由に使える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

●発表が終わったら、上記でチェックをつけた項目が無事に達成されたかについて簡潔に記録しておこう。「もっとこうしたかった!」ということがあれば、それもメモしてみよう。

●他のグループの発表を聞きながら、次のページへメモをとろう。

※ワークシートや先生がする板書をとることに慣れている人が多いかもしれませんが、人の話を聞きながら自分なりに「必要/重要だ」「糧（かて）になりそう」ということを記録し振り返る力も今後とても大切になってきます。今回みんながする発表を「聞き方」の良い練習の場にしてみてね!

7 発表を聞きながら「メモ」をとろう

【自由記述欄】

